

どーも 市長の堀口です

DXと地方自治体

デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)とは「情報技術を通じて人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」とされています。デジタルトランスフォーメーションの略がDXなのは、英語ではトランスフォーメーションの略がXだからだそうです。

菅首相はデジタル庁設置を掲げ、省庁の縦割りを乗り越え、行政のデジタル化を今後5年で達成するよう各府省庁に指示されました。総務省は「自治体DX推進計画」

を年内に作成予定で、今年度の5倍以上の額を来年度予算に概算要求されています。内容は自治体行政手続きオンライン化、AI・RPA(ロボットによる業務自動化)を活用した業務プロセスの標準化、自治体業務のクラウド化に向けたセキュリティ対策など、自治体の業務効率化を目指すものが中心です。

行政の効率化は進めなければなりません。今後、情報の受発信のツールとしてのスマホは不可欠なものとなりますが、スマホをあまり活用されていない高齢者の皆さんへの配慮も不可欠になると感じているところです。

議案等を原案どおり可決 市議会第3回定例会

9月2日(水)に開会した令和2年八幡市議会第3回定例会は、市が提出した議案等をすべて認定・可決・承認し、10月14日(水)に閉会しました。

令和元年度の決算状況をお知らせします

令和元年度一般会計等の決算状況をお知らせします。決算は、市議会第3回定例会開会中に設置された決算特別委員会で審査され、10月14日(水)に認定されました。

一般会計

令和元年度の一般会計決算額は、歳入267億9,445万2千円

445万2千円(前年度比1.0%増)、歳出262億4,475万5千円(前年度比1.3%増)です。

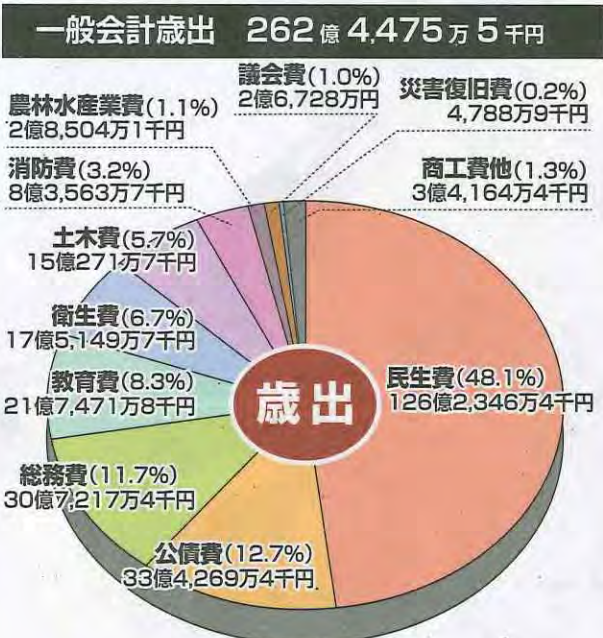
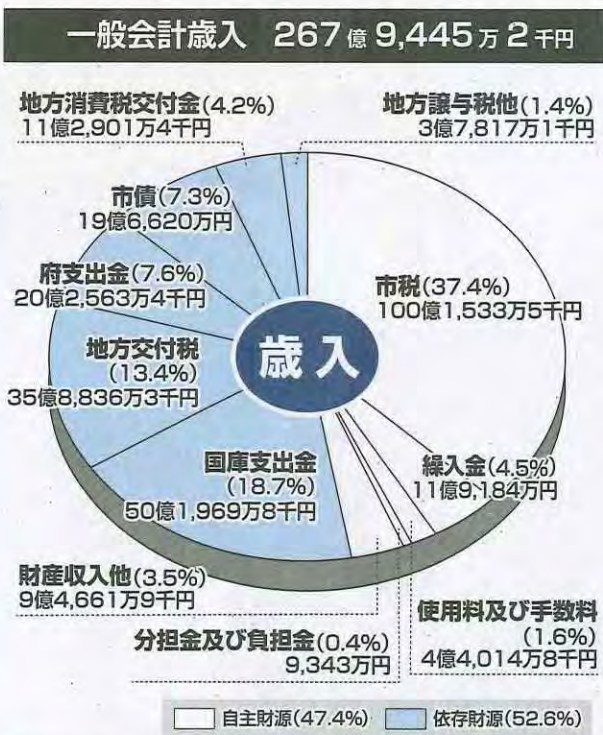
歳入歳出差引総額は5億4,969万7千円です。翌年度に繰越すべき財源1億2,600万円を差し引

いた実質収支額は4億2,369万7千円となりました。

決算の概要

歳入は、前年度と比較して地方交付税が5億4,933万1千円、市税が5億8,740万3千円、商工費が8億9,400万3千円、商工費が2億2,489万4千円増加するなど、歳入全体で3億2,415万6千円増加しました。

歳出は、前年度と比較して、総務費が12億3,912万4千円、災害復旧費が8,550万9千円減少しましたが、公債費が8億9,400万3千円、商工費が2億2,489万4千円増加するなど、歳出全体で3億2,415万6千円増加しました。



特別会計

特別会計の決算状況は、表のとおりで、実質収支をいずれも黒字で決算することができました。

※水道事業会計・下水道事業会計の決算状況の詳細は、上下水道広報紙「やわたの上下水道」(令和3年2月発行予定)でお知らせします。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引
一般会計	267億9,445万2千円	262億4,475万5千円	5億4,969万7千円
特別会計			
休日応急診療所	2,591万3千円	2,589万5千円	1万8千円
駐車場	1,148万6千円	1,068万9千円	79万7千円
国民健康保険	77億5,275万7千円	77億4,711万3千円	564万4千円
介護保険	54億6,042万6千円	53億3,412万8千円	1億2,629万8千円
後期高齢者医療	17億9,333万1千円	17億6,806万円	2,527万1千円
計	418億3,836万5千円	411億3,064万円	7億772万5千円

財政状況

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、今後の増収が見込めない状況で

す。さらに、社会保障関係経費をはじめ、新庁舎整備や橋本駅周辺拠点整備などの公共事業の推進、新型コロナウイルス感染症の影響

による地域経済の落ち込みへの対策などの課題もあることから、今後も持続可能な財政運営の確立に努めていきます。

主な取組

- 新庁舎整備事業
- 地域公共交通会議の開催
- 男山地域再生事業
- 「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定
- やわた未来いきいき健康プロジェクト開始
- 八幡フェスタ「農」開催



- 観光資源発信のため、台湾へのプロモーション実施
- 橋本駅周辺拠点整備事業
- 高規格救急自動車および高度救命処置用資機材更新



- 「NET119緊急通報システム」整備
- 体験型防災訓練「子ども防災デイキャンプ」実施
- 中学校屋内運動場等空調整備



- 徒然草エッセイ大賞実施
- 名勝松花堂および書院庭園についての保存活用計画策定

問財政課
☎0983・16697

令和2年秋季全国火災予防運動

11月9日(月)～15日(日)

住宅防火のちをを守る7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

「その火事を防ごうあなたに金メダル」

(令和2年度全国統一防火標語)

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

問消防本部予防課(☎981-0304)

火災・救急統計

消防本部 ☎981-4119

令和2年1月～9月累計	()内9月分	去年同期累計
火災出動	2件 (0)	10件
火災以外の出動	196件 (26)	174件
救急出動	2,690件 (281)	3,048件
搬送人員	2,522人 (256)	2,830人